

1 (1)(2)各2点×3 (3)5点 (4)断層1点、理由4点 (5)各3点×2

(1)	小さな揺れ a 初期微動	大きな揺れ b 主要動	(2)	(エ)
(3)	$d = \frac{6 \times 3}{6 - 3} \times 12 = 72$ <p style="text-align: right;">72 km</p>			
(4)	断層 右横ずれ断層	理由 断層を挟んで反対側の地盤が右に動いているから		
(5)	震源の方向 (ア)	観測点の位置 (ケ)		

1
22点

2 (1)(3)(5)各3点×3 (2)各2点×2 (4)整合不整合1点、理由4点 (6)(7)各4点×2

(1)	(エ)	(2)	ヌムリテス (カヘイ石)	三葉虫
(3)	ホルンフェルス		(エ)	(イ)
(4)	a層とb層の関係 不整合	理由	a層中に見られる示準化石ヌムリテスとb層中に見られる示準化石三葉虫は、明らかに地質時代区分に隔たりがありこの2つの地層は不連続に堆積したと考えられるから	
(5)	正断層	(6)	20	m
(7)	b層 → a層 → 花崗岩体C → 断層f-f'			

2
26点

3 (1)各1点×3 (2)(3)各2点×4 (4)(5)各4点×2 (6)3点

(1)	太陽放射で暖められる	低気圧におよぶ上昇気流	前線での暖気の上昇
(2)	(ウ)		
(3)	① 不飽和	② 過冷却	③ 昇華
(4)	1,000	m	(5) 25 °C
(6)	フーン現象		

3
22点

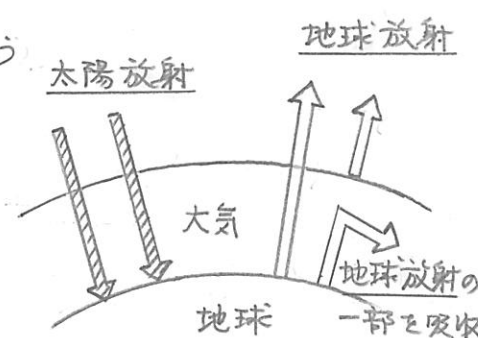
4 (1) 3点 (2) 各2点×2 (3) 各1点×5 (4) 3点 (5) 5点

(1)	恒星本来の明るさを比較するために、恒星までの距離を10パーセク(32.6光年)としたときの等級。				
(2)	ア	B	イ	K	
(3)	①	原始星	②	核融合	③ 主系列星
	④	赤色巨星	⑤	白色矮星	
(4)	(ウ)				
(5)	10 倍				

4
20点

5 (1) 6点 (2) 各2点×2

(1)	<p>○ 温室効果のしくみ</p> <p>大気中の水蒸気や二酸化炭素は、<u>可視光線</u>を透過させるが、<u>赤外線</u>をよく吸収する。</p> <p>このような気体を <u>温室効果ガス</u>という。 → 水蒸気、二酸化炭素、メタン、フロンなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>太陽放射</u>：おもに <u>可視光線</u> 地表まで届き、地球を暖める。 ・ <u>地球放射</u>：おもに <u>赤外線</u> <u>温室効果ガス</u>により、一部が大気に吸収される。 → 熱が蓄積される。 <p>適度な温室効果により、生物の生存に適した気温に保たれている。</p>	
(2)	(イ)	(オ)



5
10点

受験番号		得点その2	30点	得点合計	100点
------	--	-------	-----	------	------